

市民生活意識調査 調査結果概要について

1 調査目的

- ・男女共同参画に関する市民の意識、家庭生活及び職場の実情等を把握し、次期プラン策定の基礎データとすること。
- ・今後の男女共同参画施策推進の参考資料とすること。

2 調査対象

18歳以上の市民2,000人を無作為抽出
(令和7年9月1日時点18歳以上 415,882人)

3 有効回収数

631件(郵送回収194件・Web回収437件)(回収率31.6%)

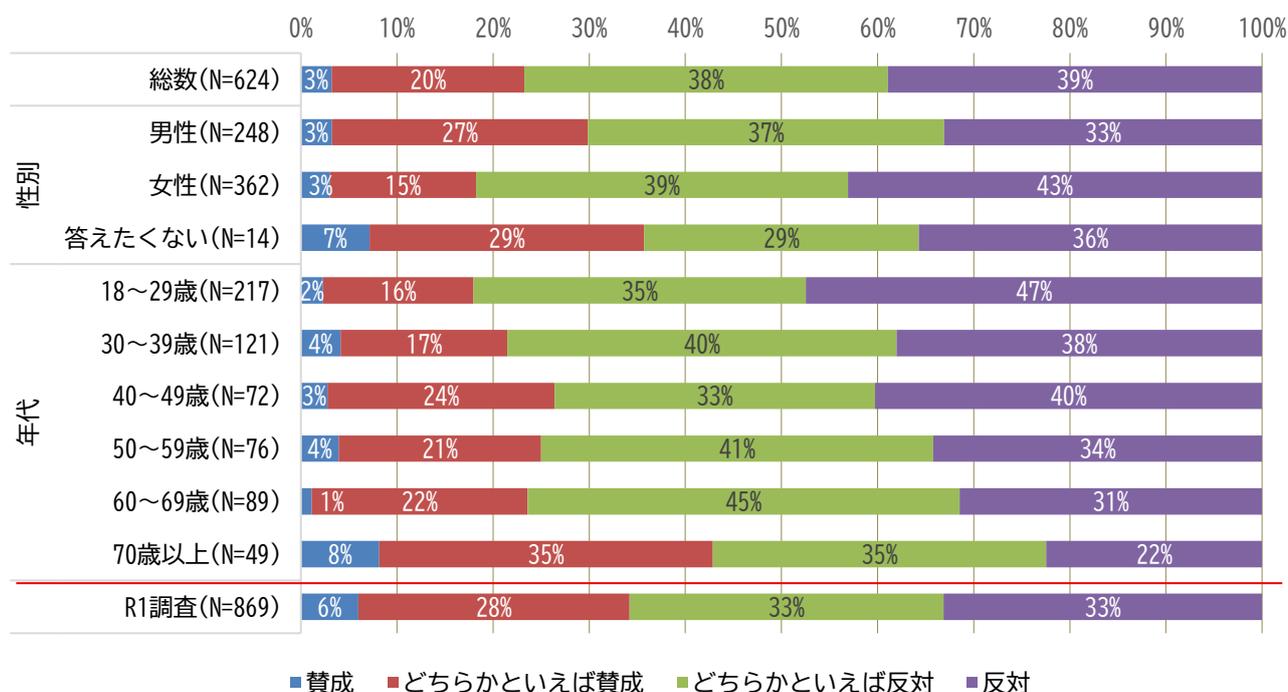
回答者：男性251人、女性363人、答えたくない14人、無回答3人

	18～29 歳	30～39 歳	40～49 歳	50～59 歳	60～69 歳	70歳 以上	無回答	合計
人口	48,221	42,987	55,702	62,423	48,515	96,452		354,300
配布数	920	350	200	220	175	135		2,000
回収数	219	121	72	77	89	50	3	631
回収率	23.8%	34.6%	36.0%	35.0%	50.9%	37.0%		31.6%

4 調査結果(抜粋)

問2 「男は仕事、女は家庭」といった考えがありますが、このことについて、あなたは賛成ですか、それとも反対ですか。(当てはまる番号1つに○)	
単純集計	・「反対」、「どちらかといえば反対」を合わせた回答が77%で、前回(R1)の調査では、同回答が66%となっており、固定的な性別役割分担意識については解消に向かっていると見える。
クロス集計	・性別ごとに見ると、男性の「賛成」、「どちらかといえば賛成」を合わせた回答は30%であり、女性よりも12%高い。また、年代別では、70歳以上の賛意を表した人の割合は43%で特に多い。

※R1年度調査では「分からない」「無回答」といった選択肢を設けていたが、今回は設けていない。そのため、各調査間で結果を比較可能とするために、R1年度データから当該選択肢を除外した上で割合を再算出し、その結果を用いてグラフを作成。



問 26 高松市では、社会のあらゆる分野に男女が共に参画し、その能力を十分に発揮できる男女共同参画社会の形成を促進するため、高松市男女共同参画センター（松島町一丁目15番1号たかまつミライエ内6階）に設置しています。あなたはこれまでに高松市男女共同参画センターを利用したことがありますか。（当てはまる番号1つに○）

単純集計

- ・「知らなかった」と答えた人が75%で、認知度の低さが課題である。
- ・「知っているが利用したことがない」を合わせた回答は97%となり、多くの市民は利用していないことが分かることから、幅広い世代への利用促進に向けた広報活動に力を入れる必要がある。

